

ともに学び、 ともに生きる。

平成28年度版

『現代の国語』『現代の書写』刊行にあたって

「知識基盤社会」「情報化社会」「グローバル化社会」の本格化・高度化を迎え、私たちは今、これまで誰も経験したことがない、複雑で激しく変化する時代を生きています。身の回りの問題をも、地球規模の課題をとっても、学校や職場で学んだ既存の知識や技能をそのまま使って解決できる問題は少なくなってきました。知識・技能の習得や正解のある課題が解けることを学びのゴールとするのではなく、状況に応じてそれらを選択し組み合わせ活用し、正解の見えない課題に対しても、価値観の異なる他者とコミュニケーションをとりながら

協働的に解決をめざす資質や能力が、社会を構成する私たち一人一人に必要とされる時代を迎えているといえるでしょう。こうした資質や能力の基盤となるのが「ことばの力」です。平成28年度版『現代の国語』『現代の書写』は、生徒たちの今、そして未来を生きる力に培う「豊かなことばの学び」を実現し、その学びの体験をとおして、知り、考え、実行し、ともに学び、ともに生きるための「豊かなことばの力」を育成する、21世紀型の学習プログラムを提案します。

豊かなことばの
学びを実現し、
豊かなことばの
力を育成します。

『現代の国語』『現代の書写』編集委員会



CONTENTS

ことばの学び

KOTOBA NO MANABI

2 平成28年度版
『現代の国語』『現代の書写』
刊行にあたって

国語

4 『現代の国語』の特色
6 「学び方」を学び、活用する。
教科書での提案
8 〈A〉読む「読み方を学ぼう」
9 教科書紙面「三角ロジック」
10 教科書紙面例「人物相関図」

11 教科書紙面例「段落の大小」
12 「読み方を学ぼう」活用例
16 教科書紙面例「説明文の基本構造」
20 セット教材の効果
熊本大学 河野順子
22 〈B〉話す・聞く、書く「汎用的能力の育成」
25 〈C〉資料編「学ぶ力を高めよう」

書写

26 『現代の書写』の特色
28 学びをひらく楽しさ
松本仁志
30 広島大学
香川大学 小西憲一

32 人と環境にやさしい教科書づくり
33 デジタル教科書・指導書などのご案内

Design
宮内 佑
Cover illustration
武政 諒